

沼田市学術協会会報

か が り び

篝 火

題字 佐藤國利元沼田市教育長

森の博物館 玉原 ブナの森

会長 角田 実

玉原高原・ブナの森は、沼田市の北部、武尊山系の西麓に位置し、日本の冷温帯を代表する樹林です。標高一、一〇〇m、一、六五〇m、広さ約九〇〇畝で、日本海側の気候で、冬期は二メートル以上の積雪があります。植生は日本海側型ブナ林



(ブナ・チシマザサ群集)で覆われており、日本海要素の植物(タムシバ・エゾユズリハ・ツルシキミ・ベニイタヤ等)が多く、約七〇〇種(木本三二%・草本六九%)の種子植物とシダ植物が確認されています。

昭和四年、今はダムに沈んだ豊平に事務所、製材所等が置かれ、官行斫伐(国が行う伐採)が始まりました。作業は、秋山平から時計回りに進み次第に奥地に入り、銅金沢にトロッコ道が延長されて伐採が進められました。こうして一部尾根筋を除いて昭和一九年に終了しました。その後、昭和四八年武尊総合レクレーシ

第 33 号

令和4年11月1日発行
発行 沼田市学術協会
会長 角田 実
沼田市下之町888
沼田市教育委員会内
生涯学習課
TEL 0278 (23) 2111(代)

ョン地域開発計画の策定、昭和五一年玉原野外スポーツ林の指定、昭和五六年玉原ダム完成、昭和五八年センターハウス供用開始、昭和六二年玉原東急リゾート株式会社設立、朝日の森竣工、昭和六三年たんばらスキーパーク開業と開発が行われてきました。

現在、ブナ林(自然林に近いブナ林)はブナ平・鹿俣山頂・キャンプ場付近に、また、ブナ平から鹿俣山への登山道、尼ヶ禿山登山道、長沢三角点等には、豊かな自然を保っているブナ、キハダ、カエデ等の樹林が



あります。

二〇一八年五月には、日本経済新聞プラスワン「新緑輝く「森のダム」の絶景・散策したいブナ林10選」で、世界自然遺産の白神山地に次いで二位にランクインされています。

このブナの森は、豊かな自然を育てている遺伝子の宝庫であり、沼田市の貴重な宝物です。市民の皆さまと共に未来へ受け継ぐため、日々の調査研究を継続して、保護保全活動を進めていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

〈ブナ〉

ブナ科ブナ属の落葉高木。樹高は30mにもなるものもある。葉は互生し、薄くてやや固め、



発芽

緑は波打っていて、鋸歯というよりは葉脈の所で少しくぼんでいる感じになる。秋には黄葉し、その後落葉する。冬芽は褐色の鱗片に包まれ、茎が伸びた後もそれがぶら下がっている。鱗片が取れても、数年は茎に痕が残る(芽鱗痕)。



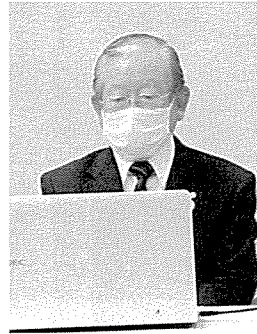
花



実

講 話 会

日時 令和四年一月二十七日
 会場 テラス沼田 四〇二・四〇三室
 講師 沼田ユネスコ協会 事務局長 大島 俊夫 先生
 演題 市内小中高校のSDGs/ESD教育と沼田ユ協



沼田ユネスコ協会では市内の小中高校におけるSDGs/ESD教育実施状況調査を行いました。
 SDGsは国連が二〇一五年九月に採択した一七の「持続可能な開発目標」と一六九のターゲットで、世界の国々で二〇三〇年までに達成することを目標にいろいろ実践されています。

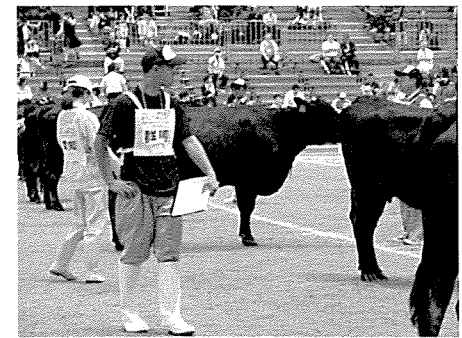
◎利根実業高校の実践事例紹介

利根実業高校は二〇一四年にユネスコスクールに加盟し、学校挙げてSDGs/ESDユネスコスクール活動に積極的に取り組んでいます。

その事例として、環境教育活動では、生徒が設計・作成した「赤城高原サービスエリアのコミュニティ・ガーデンづくり」、地球温暖化防止対策として小中学校や公共施設への「ゴーヤカーテンづくり事業」、アノシシやニホンジカなど野生動物による農業被害防止・玉原湿原の希少植物保護のための調査研究や侵入防護柵の製作・設置。また、食育活動として「地域の特産を生



全国高校そば打ち甲子園優勝



全国和牛共進会最優秀賞

かしたえだまメンチの開発・普及活動、「そば打ちボランティア活動」全国高校そば打ち甲子園優勝、「全国和牛共進会最優秀賞」、「全国農業高校お米甲子園金賞」等、様々な分野で活躍しています。最近では沼田市の伝統野菜「沼須ねぎ」の保護・保全活動に生産組合やJAの指導協力を得て取り組んでいます。このように、ユネスコスクール加盟校として「どのような行動が地域の活性化に結びつくか」「高校生として『今』できる活動は何か」等、生徒が自分で考えながらSDGs活動に取り組んでいる姿がみられます。

◎市内小中学校の実践主題紹介

市内の一九の小中学校でも

学校の特色を生かしたSDGs/ESD教育活動が実践されています。いくつかを紹介しましょう。

- 「吹割の滝遊歩道の散策とごみ拾い活動」
- 「やさしさの輪を広げよう」(お年寄りとの交流)
- 「災害を知って自分にできることを考えよう」
- 「愛のくるくるリサイクルプロジェクト」
- 「城堀川清掃ボランティア」
- 「郷土料理をつくらう・地域の農業を考えよう」
- 「花いっぱい活動・リサイクル活動」その他



吹割の滝遊歩道の散策とごみ拾い活動

◎まとめ

ユネスコスクール利根実業高校をはじめ、市内の小中学校も、SDGs/ESDを意



花いっぱい活動

図した教育活動を工夫しながら実践していることがわかります。沼田ユネスコ協会としては、各校の実践を紹介し、SDGsの意義を啓発するとともに、各校がさらに連携協力し合えるように支援を工夫していきたいと考えます。



リサイクル活動

各団体の活動の紹介

森の博物館「玉原」の地衣類

利根沼田自然を愛する会 林 徳 一

鹿俣山の地衣類調査

鹿俣山の地衣類調査は積雪の安定した三月に行っています。落葉した木の幹や枝に付着している地衣類を見つけやすいことや、スノーシューを履いていれば雪面を自由に歩け、何より藪漕ぎをしなくていいこと、そして、草木の花や実に目を奪われることなく地衣類を探すことに集中できるからです。

今年は、昨年できなかった



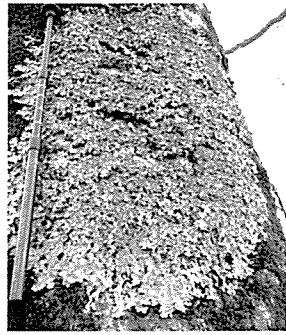
冬の玉原 ブナ林

中腹からキャン普場上部を調査しましたが、特に目新しい発見はありませんでした。ブナ林特有の「ブナノモツレサネゴケ」や「トリハダゴケの仲間」「モジゴケの仲間」など痲状地衣類が多く、葉状地衣類・樹枝状地衣類は少ない中、直径40cmを超える大型の葉状地衣類（ヘラガタカブトゴケ）をブナの大径木で確



ヘラガタカブトゴケ ブナノモツレサネゴケ

認できませんでした。葉状地衣類の生長速度は、年一〜六mm程度です。玉原の気候から、年三mmなら一三〇年程度、年四mmでも一〇〇年は経過している計算になります。葉状地衣類は風雪の影響で古い部分（通常は同心円状に成長するので中心部）が欠落することが多いのですが、玉原には欠落の少ない大型の地衣類が残っているもので、これからも大事にしたいものです。（玉原では長径約60cm・短径約50cmの巨大なエビラゴケが確認されています。巨大な地衣類は、良好な自然環境と豊かな森の象徴であると思っています。）



巨大なエビラゴケ

昨年鹿俣山調査の延長として、鹿俣沢の調査も試みました。玉原を熟知した会員の皆さん数名で入山し鹿俣沢を目指しましたが、積雪期の沢へ下るルートは急斜面ばかりでルートが見つからず断念

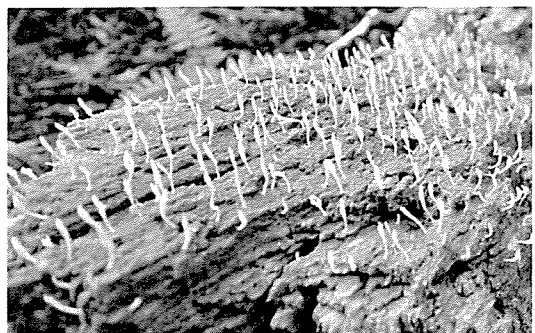
しました。鹿俣沢へは下れませんでした。鹿俣沢周辺のヒノキ林とブナ林の境界周辺に、大型の葉状地衣類が確認できました。ブナ林を吹き抜ける風や発生した霧がヒノキ林で遮られ、林の境目周辺に溜まり葉状・樹枝状地衣類の生育適地になったと思われまます。また、鹿俣沢のような深くて霧が溜まりやすい地形は、同様に地衣類の生育適地と想像できますので、来春コースを変更して再挑戦を考えています。

キノコのような地衣類 秋の玉原ブナ林の林床を注意して見ていると、朽ち木の表面がうっすら緑色になっていて、その緑色のベース（地衣類）から白く乳白色で小さな棒状のキノコのようなものが沢山出ているのを見つかりま

す。この地衣類の正体は「キリタケ」です。ほとんど（約九五％）の地衣類は子囊菌類（主に酵母やカビを作る菌類）と藻類の共生体ですが、「キリタケ」は担子菌類（主に一般的なキノコを作る菌類）と藻類の共生体です（担子菌地衣類は全体の五％以下）。

地衣類の図鑑には「キリタケ」の和名で載っていますが、キノコの図鑑にも「シラウオタケ」の和名で載っていて、地衣類でありキノコでもありません。地衣類は「藻類と共生している菌類」で「菌類の生きざまの1つ」とされています。大きな括りでは一緒です。白いキノコ状の子実体が出る季節でないから見つからない地衣類なので、一般的に稀種です。

「シラウオタケ」の名称のほうが一般的で、「キリタケ」の名称がほとんど使われていないのは、地衣類を「見る」人が少ないからと痛感します。玉原の地衣類調査を継続し、地衣類を少しでも知っていただければと思います。



キリタケ

ユネスコ世界寺子屋運動

沼田ユネスコ協会 大島 俊夫

新型コロナウイルスの終息がなかなか見通せない中、今年度の沼田ユネスコ協会は創立五十周年を迎え、実行委員会を中心に準備を進め、十月十五日に記念式典を行い、記念誌を発売しました。そのほか、「平和の鐘を鳴らそう」「研修視察」「SDGsユネスコスクール活動の連携協力」等、できる範囲で充実した実践をしてきました。

今回は、今まであまりふれなかつた「ユネスコ世界寺子屋運動書き損じはがきキャンペーン」について少し紹介したいと思います。

ユネスコ世界寺子屋運動は「世界中のすべての人が学びの場(寺子屋)で、読み書きや計算が学べるように教育のチャンスを支援する運動」です。

日ユ協連では一九八九年から始まり今年で三三年を迎えます。支援開始以来一



三万人以上の人びとに学ぶ機会を提供してきました。

たとえば、カンボジアでは書き損じはがき十一枚で、一人がひと月学校に通わせることができます。また、二百万円ほどで寺子屋一軒が建つともいわれています。

◎二〇一八年度の実績ではカンボジア、アフガニタンでそれぞれ一軒、ネパールで二軒の寺子屋を建てることのでき、ミャンマーを含め、教育を受ける機会がなかつた人びと五千人以上が識字クラスや小学校クラス、幼稚園クラスほか技術訓練などを受講することができたそうです。二〇一八

年の回収キャンペーンの結果、全国で約九六万枚、四五一六万円集まりました。

◎群馬県内では十二ユ協すべてで何らかの方法で書き損じはがきキャンペーンに協力しており、この年は総額百五十一万八千六百五十六円を日本ユネスコ協会連盟に送付しました。これは全国で三番目くらいに多かつたようです。

◎沼田ユネスコ協会ではこの運動に平成四年から参加し、市内小中学校を中心に関係機関、諸団体に協力を仰ぎ取り組んできました。

◎主な協力依頼先

沼田ユ協役員・理事・会員
教育委員会生涯学習課
市内各幼稚園・小中学校、高等学校
関係機関

中央公民館、各地区公民館
市立図書館、教育研究所、社会福祉協議会 諸団体
報道機関等

沼田記者クラブ、マイタウン谷川、週間利根社など
その他

◎回収するもの

書き損じのはがき
未使用のはがき
未使用の切手

未使用のテレホンカード年間を通して教育委員会生涯学習課に回収箱を設置して受け付けています。

特に市内小中学校には児童会・生徒会委員会活動を中心に、毎年十二月から二月末に集中的に実施していただき、生涯学習課で集めます。そして、最終的に沼田ユネスコ協会が集計し、日ユ協連まで納付してきます。

◎沼田ユネスコ協会の実績

沼田ユ協書き損じはがき年度別実績

年度	はがき・切手・テレカ	送付金額
2011年	はがき 2092枚、切手など	101,772円
2012年	はがき 3559枚、切手など	174,225円
2013年	はがき 2368枚、切手など	110,122円
2014年	はがき 2485枚、切手など	138,058円
2015年	はがき 2581枚、切手など	129,275円
2016年	はがき 3554枚、切手など	165,536円
2017年	はがき 3267枚、切手など	205,176円
2018年	はがき 2514枚、切手など	203,124円
2019年	はがき 2697枚、切手など	180,321円
2020年	はがき 2931枚、切手など	216,512円
2021年	はがき 2763枚、切手など	203,932円

◎子どもたちの感想文
「捨てるはずだったはがき一枚で、子どもを一人ひと月学校に行かせることができることを知ってびっくりしました。この活動で多くの人々が助かるんだなと思うと、うれしい気持ちになりました。」
(沼田東小学校の児童より)

◎まとめ

書き損じはがきキャンペーンは順調にのびてきています。これは教育委員会生涯学習課を窓口、小中学校や各種団体等呼びかけ、協力を仰いだできた成果であるといえます。

しかし、その意義や趣旨、その使われ方、世界の事情などについての啓発活動がまだまだ十分で、今後ともさらに広く呼びかけていく必要があると思います。

研修視察記

(8月25日)

池田地区の文化財を巡る研修

利根沼田自然を愛する会 角田 実

小雨交じりの朝、天狗プラザに集合し、沼田市観光ガイド協会顧問の中島靖浩先生を講師に、13名で研修視察がスタートしました。最初の視察地は奈良古墳群



奈良古墳群

奈良古墳群は、群馬県指定史跡で、十三基からなる古墳時代終末期群集墳です。昭和三〇年の調査では、痕跡と推測されるものを含めて五九基が確認されましたが、開田事業により多くの小規模古墳が破壊されました。また、平成十一年には、土地改良事業に伴い九基の発掘調査が行われました。古墳の構造は、いずれも埋葬施設で横穴式石室を持つ円墳と考えられます。出土遺物は、沼田市歴史資料館で一部展示してあります。次に、岡谷宿に移動しまし

た。岡谷宿は、真田八宿の一つです。(一、六〇二年 六八軒) 三字用水、女坂用水の説明をしていただきました。(中発知の発知川から取り入れられて岡谷まで引いた。) 三番目は、海野塚に移動しました。



海野塚

海野塚は、海野幸光と輝幸の兄弟を妬む者が「海野は北条と通ずる」と讒言しました。それを信じた真田昌幸が、弟の信伊に命じて先ずは幸光を急襲して討ち、直ちに沼田城に入りました。輝幸は、「主家に二心亡き証をたてん」と迦葉山を目指す途中、女坂で真田の追撃を受け、検視役田口又左衛門を一

太刀で討ち、嫡男幸貞と「無益な殺生はこれまで」と差して自害したといわれています。ここに葬ったことから海野塚と称されています。四番目に発知の彼岸桜に行きました。



発知の彼岸桜

発知の彼岸桜は、樹齢推定五〇〇年の群馬県の天然記念物に指定されています。枝張り東西約十七m、南北約二二m、高さ十五mで樹勢は良好で迫力があります。苗代作りの頃に開花するので、「発知の苗代桜」と呼ばれ親しまれています。五番目六番目は、木内家屋敷跡と墓地を訪れました。沼田一族であった木内氏の屋敷です。遺構は少ないです



木内八衛門墓地

が低い土塁が竹藪の北側と民家の東側と南側に一部残っています。墓地は、五輪塔が二基あり、海野親子を追って女坂で討ち死にした木内八右衛門の墓と伝えられています。最後に養蚕神社と正円寺馬

鳴菩薩堂へ行きました。養蚕神社は、養蚕指導で成果をあげた今村満次郎夫妻の徳をたたえて、昭和十四年、養蚕農家の寄付により、茨城県河浦町の養蚕神社より分霊して建立されました。正円寺(奈良町)は、予定では拝観しないことになっていましたが、当日、木村住職様がおいでだったのでお話ししたところ、快く馬鳴菩薩堂を開けて拝観させていただきました。

「馬鳴大士」と額が上げられているお堂で、養蚕の神様として信仰されている「馬鳴菩薩」が祀られています。



正円寺お堂

心配された天候も雨にならず、予定どおり研修視察ができました。いろいろな文化財を見ることができ、大変良かったと思います。ありがとうございました。

学術協会 役員

- 会長 角田 実
- (利根沼田自然を愛する会 九〇名)
- 副会長 石田 宇平
- (沼田ユネスコ協会 九七名)
- 書記会計 市原 康礼
- (沼田桔梗クラブ 三二〇名)
- 監事 小菅 邦雄
- (モロロジ研究会 三〇名)
- 監事 小池 大介
- 顧問 中島 靖浩
- (沼田市観光ガイド協会 二四名)
- ()内は所属団体名と構成人員数
- *学術協会総計 (総会時) 五団体 五六一名
- *事務局 市教委 生涯学習課

《編集後記》

色とりどりの木々と青空のコントラストが美しい季節となりました。長引くコロナ禍の中で、新しい生活様式を定着させ、安全で健康な生活を築いてきましたが、屋内での活動が主となる団体については活動が制限され続け、会報「篝火」に掲載する内容が確保できない事態も生じています。新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と、計画した事業がスムーズに進行できるようにすることを願うばかりです。さて、今年度も皆様のご協力によって会報をお届けすることができました。ご一読いただければ幸いです。(事務局)